



Fukushima Tech Create
福島イノベーション創出プラットフォーム事業



福島イノベ機構

1

Fukushima Tech Create

福島イノベーション創出プラットフォーム事業

支援プログラムがより充実！！

公益財団法人 福島イノベーション・コースト構想推進機構

2023年 3月

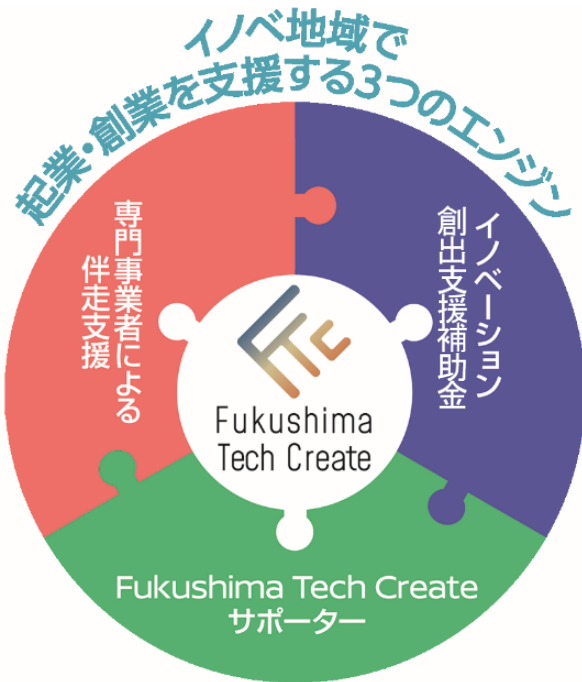
(令和5年度 プログラム参加者募集の事前案内)



Fukushima Tech Create
福島イノベーション創出プラットフォーム事業

- **新たなプレーヤーを呼び込み、産業の集積を図るため、福島県浜通り地域等15市町村（イノベ地域）において起業や新事業展開を目指す優れた事業シードを全国から発掘し、事業化に至るまでの様々な支援を行っています。**

Fukushima Tech Create (略称：FTC)



FTCでは、3つのエンジンで起業・創業をサポートします。

①専門事業者による伴走支援

- ・豊富な支援実績を有する専門コンサルタント事業者による起業・創業ステージに応じたアイデアの具現化や事業計画のブラッシュアップなど、ハンズオン型支援を無料で受けられます。

②イノベーション創出支援補助金(最大1,000万円、補助率最大4/5)

- ・審査により、試作品開発や市場調査、実証などの費用を補助します。
- ・各プログラムにより、補助金の上限額が異なります。

③「FTCサポーター」によるバックアップ支援

- ・福島県内外の行政機関、金融機関、大学、研究機関などがサポーターとなり、実証場所の紹介やアドバイス、情報の提供等を行います。

FTC特設サイト



(過去情報等がご覧いただけます。)

FTC事業概要動画



(事業概要の動画をご覧いただけます。)

福島イノベ構想の重点6分野関連スタートアップ支援

ビジネスアイデア事業化プログラム (支援年数: 最大1年、補助上限額: 300万円)

⇒ 4ページ

〔福島イノベ構想の重点6分野での起業や新事業展開等の新たなチャレンジを志向する者向けの支援プログラム〕

アクセラレーションプログラム (支援年数: 最大2年、補助上限額: 500万円)

※翌年度の募集時に進捗・成果を踏まえた審査あり。2年目に採択された場合は当該年度の補助上限額1,000万円。

⇒ 5ページ

〔福島イノベ構想の重点6分野での事業化を志向するアーリーステージ等にある者向けの支援プログラム〕

研究機関や大学等での研究成果の社会実装スタートアップ支援

先導技術事業化アクセラレーションプログラム

(支援年数: 各フェーズ最大1年、補助上限額: 各フェーズ1,000万円)

⇒ 6ページ

研究機関や大学等での研究成果等を社会実装しようとする者で、研究者が自ら創り、又はビジネスパートナーに橋渡しにより社会実装しようとする者向けの支援プログラム

- ① 起業フェーズ → 起業・創業の準備もしくは直後にある企業、個人
- ② 事業化フェーズ → 事業化に向けた試作品開発・実証等を行う企業
- ③ 量産化フェーズ → 量産化に向けた開発製造施設等の立地を目指す企業

【補助率3/4 (ただし特定要件のいずれかを満たす場合は4/5)】

特定要件: ①ビジネスコンテスト(国・県等が実施・後援するもの)で優秀な成績を収めたことがあること、②J-STARTUP(地域版を含む)に選定されていること、③大学等発ベンチャーとして認定されており、補助金の交付申請時点において大学の施設・設備を使用できるなどの具体的な支援を受けていること、④事業を推進するうえで連携協定書等により福島県浜通り地域等の自治体との合意がなされていること、⑤VC(ベンチャーキャピタル)等からのエクイティ出資等の資金調達を行っていること、⑥大学等と共同研究をしていること

【地域要件】

アクセラレーションプログラム及び先導技術事業化アクセラレーションプログラムについては、イノベ地域における事業拠点の設置が、登記簿、賃貸借契約、納付実態を証するもの等により確認できることを補助金の支払い要件とする。ただし、単なる代表者等の生活のための拠点設置は対象外とする。

※プログラム参加希望者は、これまでのFTC参加実績、補助金の交付実績に関わらず応募が可能であり、採択された場合には、審査結果を踏まえて各プログラムの上限額まで補助金の交付を受けることができます。

※令和6年度以降の募集実施及び要件が確定しているものではありません。

ビジネスアイデア事業化プログラム

支援対象	福島イノベ構想の重点6分野での起業や新事業展開等の新たなチャレンジを志向する企業、個人
募集数	20者程度
応募資格	イノベ地域に既に立地している、又は、将来的に同地域に根差してビジネス展開を行う意思を有する企業、個人
支援年数	1年
支援内容 (予定)	イノベーション創出イベント（イノベ地域又は首都圏にてワークショップ等を5回程度開催）によるビジネスモデル策定支援、専任の担当者による事業計画のブラッシュアップ、成果発表会での登壇機会の提供、実証協力者の紹介等
補助上限額	300万円
補助率	3/4（ただし特定要件を満たす場合は4/5）

アクセラレーションプログラム

支援対象	福島イノベ構想の重点6分野での事業化を志向するアーリーステージ等にある企業
募集数	7者程度
応募資格	イノベ地域に既に立地している、又は、当該年度中に同地域に根差してビジネス展開を行う意思を有する企業、個人
支援年数	最大2年 (翌年度の募集時に当該年度の進捗・成果を踏まえた審査があります。翌年度以降の募集実施及び要件が確定しているわけではありません。)
支援内容 (予定)	イノベーション創出イベント(イノベ地域で2回、オンラインで2回程度のワークショップ等を開催)への参加、専任の担当者による事業計画のブラッシュアップ、成果発表会での登壇機会の提供、実証協力者の紹介等
補助上限額	500万円(2年目に採択された場合は当該年度の補助上限額1,000万円)
補助率	3/4(ただし特定要件を満たす場合は4/5)
備考	イノベ地域における事業拠点の設置が、登記簿、賃貸借契約、納付実態を証するもの等により確認できることを補助金の支払い要件とする。ただし、単なる代表者等の生活のための拠点設置は対象外とする。

先導技術事業化アクセラレーションプログラム



支援対象	研究機関や大学等での研究成果等を社会実装しようとする者で、研究者が自ら創り、又はビジネスパートナーに橋渡しにより社会実装しようとする者向けの支援プログラム
募集数	7者程度
応募資格	イノベ地域に既に立地している、又は、当該年度中に同地域に根差してビジネス展開を行う意思を有する企業、個人
支援フェーズ	①起業フェーズ……起業・創業の準備もしくは直後にある企業、個人 ②事業化フェーズ……事業化に向けた試作品開発・実証等を行う企業 ③量産化フェーズ……量産化に向けた開発製造施設等の立地を目指す企業 (フェーズを選択しての応募となります。複数フェーズへの応募はできません。②や③からの応募も可。)
支援年数	各フェーズ1年
支援内容 (予定)	イノベーション創出イベント(イノベ地域で2回、オンラインで2回程度のワークショップ等を開催)への参加、専任の担当者による事業計画のブラッシュアップ、成果発表会での登壇機会の提供、実証協力者の紹介等
補助上限額	各フェーズ 1,000万円
補助率	3/4(ただし特定要件を満たす場合は4/5)
備考	イノベ地域における事業拠点の設置が、登記簿、賃貸借契約、納付実態を証するもの等により確認できることを補助金の支払い要件とする。ただし、単なる代表者等の生活のための拠点設置は対象外とする。

- プログラム参加者は、約7か月に渡る伴走支援や補助金を活用し、事業計画のブラッシュアップや試作品開発、市場調査、実証実験等を実施。
- 支援期間の終盤に予定される成果発表会でその成果を発表し、資金提供者、事業パートナー等を募り、更なる事業進展に繋げていく。

年間スケジュール案

各プログラムの参加者募集（4月中旬～5月中旬）

審査（6月中旬）

採択決定（6月下旬）

支援期間（6月下旬～2月下旬）

補助金活用期間（7月中旬～1月下旬）

成果発表会（ピッチ+ブース交流）開催（翌年1月下旬）

本資料で使われる「用語」は、以下の通りです。

用語	説明
福島イノベ構想	「福島イノベーション・コースト構想」の略称
福島イノベ機構	「福島イノベーション・コースト構想推進機構」の略称
イノベ地域（＝福島県浜通り地域等15市町村）	いわき市、相馬市、田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、新地町及び飯舘村
福島イノベ構想の重点6分野	廃炉、ロボット・ドローン、エネルギー・環境・リサイクル、農林水産業、医療関連、航空宇宙

